

ふるさと納税

ふるさと納税制度への今後の取組は

答弁： 制度の趣旨と実態を十分勘案しながら、適切に対応してまいります。そして、何より最も大事なものは、寄附していただいたご意向が明確になるように適切に運用していくことであると考えております。

竹内 政雄 議員

竹内 最近のふるさと納税制度をみると、お礼の特典に魅力のある勝ち組と魅力の薄い負け組といった、自治体間の格差が生じていると感じます。本市でもふるさと納税制度を有効に活用し、寄附金が増えるようにしたいと思っております。今後の取組についてお伺いします。

総合政策部長 平成28年度からの新たな取組として、大手民間サイトである「ふるさとチョイス」を活用し、インターネットでの申込み、クレジットカードの導入を図り、制度利用者が簡単にす

かぞブランド

かぞブランドの創出支援の考えは

答弁： かぞブランドとして、付加価値の高い製品等を作るための取組を市民の皆様とともに進めるほか、市内外への情報発信など、さらにレベルアップを図りながら展開してまいります。

酒巻 ふみ 議員

酒巻 本市では、加須の地酒「加須の舞」や6次産業化によって開発された商品があり、市としても販路拡大や商品開発の支援を行うとともに、雇用創出に関しても様々な取組を実施しております。そこで、今後の加須市のまちづくりも含め、かぞブランドの創出支援の考えをお伺いします。

市長 ブランド化については、いかに価値の高いものにしていくかであり、特色ある地域づくりを進めるにあたっては、市民の皆様とともに、様々な方策によりブランド創出を図っていくことが必要であると考えております。最終的にはかぞブランドは加須市の市民力であるとされており、市民の知恵と力の結集により作り上げられた製品等を、市内外に情報発信していくことがかぞブランドの創出支援であり、レベルアップを図りながら展開してまいります。地域ブランドの確立は、簡単ではありませんが、様々な面で加須市を活性化させてまいりたいと存じます。

高齢者支援

高齢者が安心できる支援体制を

答弁： 認知症の人の生きがいづくりとして、認知症カフェを実施しております。また、在宅医療・介護連携については、市民・医療・介護関係者の会議で議論を行っております。

野中 芳子 議員

野中 国が示す新オレンジプランの中で認知症サポーターの研修修了後のフォローや活躍、更に認知症患者の生きがいづくりを支援する取組を推進するとあります。本市の現状と今後の方

意思表示欄を設け、認知症対策事業への協力者を把握しているところがございます。認知症の方の生きがいづくりとして、市内4か所において認知症カフェがあり、今後、より多くの方が参加しやすい環境づくりに努めてまいります。

「駅を活用した」地域活性化

副駅名称やご当地発車メロディーの導入を

答弁： ご質問の趣旨は理解するところでありますが、解決しなければならぬ課題がございますので、引き続き検討してまいります。

森本 寿子 議員

森本 地域活性化を図るため、話題や人を呼び込む一助となるよう東武日光線柳生駅に副駅名称を導入すること、また、JR宇都宮線栗橋駅の発車メロディーに本市の偉人である下総院一氏作曲のメロディーを導入することに、考えをお伺いします。

総合政策部長 副駅名称の導入については、施設管理者である東武鉄道株式会社に問い合わせたところ、始めは対象駅に含まれていないとのことでございました。なお、今後対象駅に追加された場合でも、副駅名称や掲載経費等の課題があることから、中長期的に検討してまいります。また、発車メロディーについても、施設管理者であるJR東日本旅客鉄道株式会社に問い合わせたところ、栗橋駅の所在地である久喜市からの要請が必要となるほか、導入費用等の課題もあることから、久喜市や施設管理者と協議してまいります。